



## CONTENTS

アイオナ紀行  
『みんなで輝く日が来る アイオナ共同体讃美歌集』  
山本美紀『メソディストの音楽』  
『ヘブンズ・ゲート 天の門』の作曲について  
楽譜『ヘブンズ・ゲート 天の門』  
パキスタンの教会の讃美歌

山本美紀 1  
中山信児 3  
中山信児 3  
下川羊和 4  
下川羊和 5  
飯田勝利 6



*Japan Evangelical Association  
for Congregational Singing*

## アイオナ紀行

山本美紀(青山学院大学)

列車とバスとフェリーを乗り継ぎ、ロンドンからおよそ3日間かけて、この夏アイオナ島を訪れました。アイオナ島は、スコットランド西岸のインナー・ヘブリディーズ諸島に属する小さな島です。もっと早く現地に着く方法はあったと思います。けれども今回は、巡礼地ともいわれるアイオナに時間をかけて行きたいと思い、あえてイギリスを縦断する方法を取りました。その甲斐あって、イギリスの様々な地方の風情を味わいました。中でもオーバンのバスの道は、小さな湖(ロッホ)や気ままに羊が草を食む斜面、その斜面から豊かにほとばしる小さな滝、といった西ハイランド地方特有の美しい風景を堪能しました。

アイオナ島へのフェリーは金曜日の最終便で、週の間親元から離れて島外にある学校に通う子供達(小学校高学年~?)と一緒になりました。明らかにバスのフェリー乗り場到着予定時刻は出航時刻を過ぎるので、私たち旅行者はハラハラしていましたが、子供達は待っていてくれたフェリーの乗務員の人たちに元気にあいさつして、悠々と乗り込んでいきます。一方で私たちとはいうと、Google マップには表示されない「ローカルルール」に救われたような思いで、不安定な橋げたをヨロヨロ渡って乗り込みました。

アイオナ島の住人は170～180名、そこにスコットランド国教会、カトリック教会、正教会（現役の礼拝堂ではありません）などがあります。この小さな島にこれだけの各教派に縁をもつ建物や遺物があるのは、この島の歴史が「キリスト教の永続的な象徴」であるからといいます。

アイオナ島におけるキリスト教の始まりは、563年頃に聖コランバ（St. Columba）が12人の仲間と共に上陸し、修道生活を始めたことに遡ります。1200年頃にはベネディクト会修道院とアウグスティノ会修道院によって巡礼の聖地となります。1560年宗教改革で終焉を迎え、修道院は廃墟と化しました。そのアイオナ島がエキュメニカルなキリスト教活動の拠点の一つとして息を吹き返すのが、1938年、ジョージ・F・マクラウド牧師（グラスゴー、ゴーバン旧教区教会）による「アイオナ共同体 Iona Community」（以下コミュニティ）の設立とそれに伴うアイオナ修道院（Iona Abbey、以下修道院）の再建です。コミュニティは都心の貧困層への厳しい奉仕に備える訓練施設として計画され、現在は「平和・社会正義・共同体の再建・礼拝刷新を掲げるエキュメニカルな世界的キリスト教共同体」として、青少年育成プログラムはじめ外部に開かれたリトリート施設の運営など幅広い展開を見せてています。

3日間の滞在中に参加できた共同体の聖日礼拝は、修道院の中で、常駐の教会奉仕者と信徒、旅行者（巡礼者）の合同で行われます。礼拝前には、司式者と音楽担当者にリードされて礼拝中に歌われる応答唱などを練習します。前に立つ人はすべて、呼び名と共に「私の代名詞はsheとherです」などと代名詞をつけて自己紹介します。私が参加した日は、躍動的な応答唱《聖なる聖なる》と南アフリカ発祥の歌《マヤン・ジ・ウェイ・タンゴ・ヤ》（アフリカ語なので正確ではないかもしれません）を練習しました。集った巡礼者たちは、多くがアイオナ共同体の活気ある賛美歌唱に関心をもっている人や、すでによく知っている人たちなので、事前の賛美練習は練習というよりも、共に礼拝する者同士の挨拶のようでもあり、礼拝中は賛美によってその礼拝共同体の一一致が象徴的に体感される、不思議な感覚を覚えます。

礼拝はカリヨンの音から始まり、『アビー礼拝書』と『アイオナ賛美歌集』によってすすめられ、メッセージ、祈り、聖餐式が続いて、祝祷、最後は『マヤン・ジ・ウェイ・タンゴ・ヤ』を歌いながら退出、お茶を挟んだ交わりの時、となります。

実際にアイオナの礼拝に参加して思わされたのは、祈りの豊かさです。感謝、訴え、嘆き、仲間の課題や社会課題について、あらゆる祈りが礼拝中がありました。「御心に反するものであっても、憐れみをもって私たちを力づけてください。私的な渴望、秘めた希望、そして抱くあらゆる疑惑、嫉妬、怒りさえも。私たちの祈りを聞き届けてください。」には、見せかけの従順さではなく、神の前にすべてをさらけ出して委ねようとする切実さに心を合わせました。賛美の豊かさは祈りの豊かさ（雄弁という意味ではなく）であること、賛美の果実は祈りと神への信頼によることを、改めて教えられた祝福の時間でした。

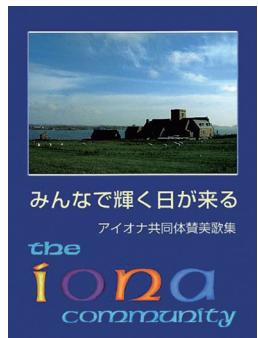
写真表紙：アイオナ修道院外観

写真左：アイオナ修道院内側

撮影：山本美紀

## 『みんなで輝く日が来る アイオナ共同体讃美歌集』

日本キリスト教団讃美歌委員会 日本キリスト教団出版局 1999年



本書にはアイオナ共同体出版の讃美歌集から32曲の新しい讃美歌が収録されている。その多くをジョン・ベル(John L. Bell)とグラハム・マウル(Graham Maule)の二人が生み出している。横坂康彦『新しい讃美歌作家たち』(日本キリスト教団出版局 1999年)には、この二人のインタビューが掲載されており、彼らの創作の姿勢を知ることができる。

彼らは、目の前にある共同体(教会)の現実の中で、共同体に向けて書くことを大切にしている。また「聖書を歌で語り直し、心に新しいイメージを広げる」ことが、彼らの讃美の特徴となっている。聖書の深いメッセージを汲み取りながら、それを現代に生きる会衆に適用させる姿勢は、新しい時代における讃美のひとつの方向を示している。『教会福音讃美歌』には、彼らの作品から6曲(144、154、203、204、248、428)が収録されている。

## 『メソディストの音楽 —福音派讃美歌の源流と私たちの讃美—』

山本 美紀 著 ヨベル 新書判 2012年



本書には二つの論考が収録されている。書名にもなっている「メソディストの音楽」と附論「興業としての宣教 —G.オルチンによる幻燈伝道をめぐって」である。

本書では、讃美歌作家として良く知られている弟のチャールズ・ウェスレー以上に、メソディスト運動の創始者であり、優れた讃美歌編集者また讃美歌作家でもあった兄のジョン・ウェスレーに、多くの頁が割かれている。「メソディストの音楽」1-3章では、ジョンたちが、産業革命期の英国に生じた大きな社会的変動に直面しながら、どのようにメソディスト運動を展開していったのか、その中で讃美がどのようにして人々の心を捉え、用いられたのか、彼らはどのような意図をこめて讃美歌を作り、歌わせたのか、といったテーマについて、コンパクトながら行き届いた解説がなされている。4章では「グローバル・ソング」という現代讃美歌学の課題について論じている。それは、地域教会に始まり、さまざまな諸教派を経て、全世界の主の教会に至る大きな視野と、「世代間や異文化の断絶を越えて、互いの悩みや喜びを共有できる機会となる希望」を与えてくれるものである。本稿は「讃美やそのあり方が多様化する現代にある私たちもまた…次世代への讃美について、具体的な対話をいっそう進めていく時を迎えているのかも知れません」(84頁)ということばで結ばれている。

附論では、日本の讃美歌学の基礎を築いたジョージ・オルチン(1852-1935)による幻燈伝道について論じられている。オルチンは、幻燈で聖書物語を投影しながら日本全国を巡回し、多くの人々に福音を伝えた伝道者でもあった。当時、最新メディアである幻燈は大変評判で、数百人から千人規模の会衆が集まるものがあったという。オルチンは、彼らに幻燈を見せ、トラクトを配り、説教を語り、讃美歌を紹介した。まさに視覚と聴覚、ことばと音楽を総動員しての伝道と言える。本書に収められている2つの論考には、「人を惹きつける」という共通のテーマを見ることができるが、これも現代宣教論の重要な課題のひとつと言えるだろう。

# 『ヘブンズ・ゲート 天の門』の作曲について

(2025 年度聖ヶ丘バイブルキャンプテーマソング)

新潟福音教会 牧師 下川羊和 (聖ヶ丘バイブルキャンプ委員)

2024 年、私は新潟県柏崎市鯨波にある聖ヶ丘バイブルキャンプ場の委員になりました。委員会では 25 年度のテーマについて半日かけて話し合われ、参加者の靈的必要に応えるテーマ聖句、創世記 28:16 「ヤコブは眠りから覚めて言った。『まことに主はこの場所におられる。それなのに私はそれを知らなかった。』」が選ばれました。

キャンプでは神様と共に時間を過ごすことができたキャンパーが、日常に戻ると教会へ行かなくなり靈的にダウンしてしまう。しかし、神様はどんな時でも共にいてくださることがわかるよう、そんなキャンプを体験することができるよう願われたことでした。そしてこの御言葉に基づくテーマソング作曲の依頼を受けることになりました。

最初にしたことは、作詞です。兄に恨まれ、家を出ることになったヤコブの旅の初めに、夢を見せ、語りかけ、共にいてくださることを明らかにされた神様の臨在がわかるよう、旅の孤独から描き始めました。語数、韻律は揃っていませんが、歌い易い言葉を意識しながら作詞しました。「生まれた家を離れ、一人踏み出した道、この先いつになれば、行き先に辿り着けるだろう。果てなき道、光見えず、どこまで行くのか。」私たちはヤコブの旅を想像しながら、聖書を読みます。聖書の出来事を、自分のこととして重ね、思い巡らすことができるよう。

ヤコブが眠りに着くと、情景が替わります。「その夜夢を見た。一つのはしごが、地に向かって立てられ、御使いの行き交う姿、主の声が聞こえる。」B メロの歌詞が出来ました。聖書そのものが私たちの視覚に訴えています。その後はクライマックスになる主御自身の言葉。「わたしはあなたがどこにいても、ともにいてあなたを見守る。あなたに約束したことを成し遂げるまであなたを捨てない」主の御言葉に対してヤコブは気づきを告白します。「私は知らずにいた。まことに主はこの場所におられる。私は知らなかった。ここは神の家、ここは天の門だ。」

音楽は最後の気づきの場面から旋律とコード進行が生まれました。バスが C から G に向かって下行する”納得”を意味する進行。しかしここが「神の家、天の門」であることへの驚きが G 調に無い F によって示されます。

エンディングが出来てひと安心。頭に戻って旋律づけ。「どこまで行くのか」は低すぎる音高。ですが、委員会では「遠慮なく作ってください」と言っていたので、そのままにしました。声が出ないくらいの低音にヤコブの気持ちの落ち込みを代弁させました。はしごは彼の目を天に向けます。御使いという言葉に DGD、オクターブの跳躍。歌いにくい音程ですが、天と地を結ぶ神の奇跡的な働きを体感してほしい、と願いました。サビは主御自身の言葉なので高い D が一小節丸々、同音反復で響きます。高音を軽々と支える歌唱力が必要かもしれません。(通常の会衆賛美ならアウト！です。しかし D はラテン語で主 Dominus の D) そして主がヤコブを捨てないことは約束に基づきますから、次の部分も大切。高い D の連打を繰り返すサビになりました。前奏と間奏は、持続低音 G を使って、ゲートをイメージしています。ベースの G はゲート (Gate) の G です。

# ヘブンズ・ゲート 天の門 (Heaven's Gate)

Jonah S.

聖ヶ丘2025年春キャン Wow! 知らなかつた U24 テーマソング

Jonah S.

G Dm/G C/G Cm/G G D/F# Em G/D

5 CM7 G/B Dsus4 D G D/F# Em G/D

踏み出ーしたーーみちー このさーき いつになーればー ゆきさ

9 CM7 G/B Am7 D B7/D# Em Bm/D CM7 G/B

きにたーどりーつけるだーーろうー果てなき みちひかり 見えずーどこま

13 Am7sus4 C/GD/F#C/ED B7/D# Em Bm/D CM7 G/B Am7 C/G D/F# C/ED B/D#

でゆくのか そのよるゆめをー見たー ひとつのはしごが

19 Em Bm7 C G/B Am G/B Cadd9th A7/C#

地に向けて立てーられー みつかいのゆーきかうすがたー 主のこーえが聞こえ

23 Dsus4 C/E D/F# G D/F# C/E G/D C G/B Am Dsus4 D

る 「わたしはあなたがどこにーいてもーともにーいてーあなたを見まもるー  
あなたはわたしがどこにーいてもーともにーいてーわたしを見まもるー

28 G D/F# C/E G/D C G/B Am Dsus4 D

あなたにやくそくしたこーとをー成し遂げるまでーあなたを捨てないー  
わたしにやくそくしたこーとをー成し遂げるまでーあなたは捨てないー

32 C G/B Am7 G/B C G/B Am7 G/B

わたしはー知らずにーいた まことにー主はこのー場所におられる

36 C G/B Am7 G/B F C/E Cm/E Dsus4 D G

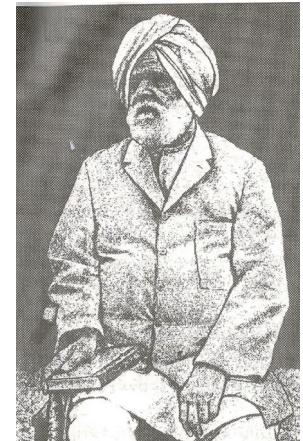
わたしはー知らなかーった ここはかみの一いえーここはてんのーもんだー

# パキスタンの教会の讃美歌『シーアルコート聖会讃美歌集』

JECA 結城福音キリスト教会牧師 福音讃美歌協会代表理事 飯田勝利

私たちの教会には、パキスタン人牧師マシさんがいます。彼は 2018 年、日本での国際会議に出席中に現地のイスラム過激派が彼の教会に来て「彼を出せ」と脅したため帰国を断念し、宗教を理由に日本で難民認定申請をしました。共に来た信徒のコカルさんは贊美の賜物を持ち、夏期聖会で詩篇 141 篇の詩篇歌をウルドゥー語で歌いました。その独特的な旋律とリズムを通して、私はパキスタンの教会が地元の言葉と土着の音楽に根ざした詩篇歌を受け継いでいることを知りました。

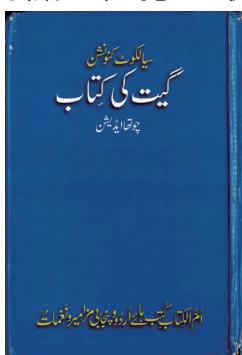
パキスタンは 1947 年に独立した人口約 2 億 4 千万人の国で、クリスチャンは 300 ~ 450 万人ほど。イスラム教を国教とする国の中では少数派です。しかし、日本と比べればはるかに多く、マシ牧師によればカトリックが約 6 割、プロテスタントが約 4 割です。



そのようなパキスタンのクリスチャンの信仰生活を支える讃美歌が『シーアルコート聖会讃美歌集』です。これは 1904 年、パンジャブ地方シーアルコートで長老派宣教団によって始まった聖会に由来します。この聖会についてはフランシス・A・マッゴー著『祈りのハイド』でも「シャルコット聖会」として紹介され、祈りと御言葉の奉仕を通して起こったリバイバルが記されていますが、この歌集の存在は、讃美もまた大きく用いられたことを物語っています。

この歌集の誕生に用いられたのが、牧師であり詩人でもあった I.D. シャーバズ師 (Imam-ud-Din Shahbaz 写真右上) です。彼は 1880 年以来、礼拝で詩篇を歌う伝統を持つ長老派宣教団において、旧約聖書の詩篇をウルドゥー語とパンジャブ語で歌える詩文に翻訳する役割を担いました。当初は西洋の旋律に合わせて訳されました。しかし、後に土着の音楽に合わせて歌えるようにし、人々が自分たちの言葉とリズムで詩篇を贊美できるようにしました。すると、この詩篇歌は人々の心をとらえ、瞬く間に広がりました。彼は 150 篇の詩篇から主題別に 405 の部分に分け、詩篇歌を創作しました。識字率の低いパンジャブ地方の人々にとって、これらの歌は日常生活の中で御言葉に触れる助けとなり、苦しい生活の中で信仰を支える重要な手段となりました。

おりしもシーアルコート聖会が 1904 年に開かれると、そこで彼の詩篇歌が歌われました。そして、1905 年には彼の歌を含む聖会歌集が二千冊出版され、すぐに完売。翌年から聖会が全教派に開かれると、歌集は教派を超えて用いられるようになりました。現在は第 4 版 (写真左下) で、詩篇歌 150 曲、讃美歌 458 曲の計 608 曲を収録しています。特徴は楽譜がなく歌詞だけが掲載されている点で、会衆は耳で覚えて歌います。前文には「靈的な質と音色の甘美さを保つため、既存の旋律に限定する



ように」との注意書きがあり、伝統的なメロディーが守られています。

マシ牧師は、「私たちは日々差別や迫害に直面しますが、その中で詩篇歌を歌うことを通して感情や嘆き、悔い改め、感謝を神にささげるとき、希望が神にのみあることを思い起します」と語ります。『シーアルコート聖会讃美歌集』はかつてのリバイバルの実であり、今も苦難の中に生きるパキスタンのクリスチャンにとって信仰と希望の源であり続けています。日本でも、詩篇を日本語の詩文に訳し、馴染みのある旋律で歌うことができたら、どんなに素晴らしいだろうと感じさせられています。

# \*会計報告\*

2025年4月～2025年9月

## ■収入の部■ (単位:円)

科 目	2025 年度予算	中間報告
会員負担金	1,010,000	920,000
(正会員)	(750,000)	(750,000)
(準会員)	(60,000)	(60,000)
(賛助会員)	(200,000)	(110,000)
自由献金	300,000	55,200
積立金取り崩し	0	0
特別収入	0	0
その他	70,000	4,665
当年度収入合計 (A)	1,380,000	979,865
前年度繰越金	2,564,572	2,564,572
収入合計 (B)	3,944,572	3,544,437

## ■支出の部■

科 目	2025 年度予算	中間報告
理事会費	168,000	0
委員会費	275,000	88,583
人件費	384,000	192,000
事務費	142,000	91,263
ジャーナル発行費	314,000	159,210
カンファレンス開催費	255,000	7,125
総会開催費	2,000	0
JEA 関係費	100,000	75,000
経常支出合計	1,640,000	613,181
特別支出	積立金	0
予備費	200,000	0
当年度支出合計 (C)	1,840,000	613,181
当年度収支差額 (A) - (C)	-460,000	366,684
繰越額／残高 (B) - (C)	2,104,572	2,931,256

### ●賛助会費納入者・献金者一覧 (2025年4月～2025年9月) (敬称略)

個人: 齊藤眞木子、中川啓子、高橋和江、横倉知恵、倉富隆子、安西仁美、福田崇、藤本侃也、渡辺真理子、脇田立郎、土井倫子、鈴木基弘、樋口邦彦、匿名1名 (14件)

教会: 千歳烏山光の子聖書教会、グレースコミュニティー、菅生キリスト教会、馬天キリスト教会、武藏台キリスト福音教会、(5件)

お名前の掲載を希望されない場合は、通信欄に匿名希望とお書きください、メール (info@jeacs.org) で、その旨をお知らせください。

# クリスマス献金のお願い

「見よ、神は私の救い。私は信頼して恐れない。  
ヤハ、主は私の力、私のほめ歌。私のために救いとなられた。」  
イザヤ書 12章2節

親愛なる皆さまへ　主の御名を賛美いたします。

救いの御子イエス・キリストが私たちに与えられたことを祝うこの季節を、皆さま平和のうちにお迎えのことと存じます。日頃より、福音讃美歌協会の働きを覚え、祈りとご支援をもってお支えくださっておりますことを、心より感謝申し上げます。

本協会は、「キリスト教会における会衆讃美の振興に寄与すること」を目的として2005年の発足以降、讃美歌集の編纂とジャーナルの発行を中心に、様々な普及啓発活動を行ってきました。最近では、教会の「特別伝道礼拝」と「オーディオ・コンサート」に講師を派遣しました。また、昨年発刊した「あたらしい歌3」の普及のための企画を準備中です。これらの活動は、主の導きとともに、皆さまお一人おひとりの献金と祈りに支えられて続けられています。

賛美と祈りのうちに、福音讃美歌協会の働きをどうぞ続けてお支えください。

主にあって

一般社団法人 福音讃美歌協会

## ♪讃美歌についての集会を企画してみませんか。

礼拝説教、伝道会、講演会、オーディオコンサート、音楽奉仕者の研修などに、福音讃美歌協会から講師、奉仕者を派遣することができます。ぜひ、お招きください。

日程、内容、講師等について、ご希望をお知らせください。当方で調整の上、改めてご連絡させていただきます。福音讃美歌協会の働きについて紹介と報告をさせていただければ感謝です。

### ◆郵便振替口座◆

番号 00220-1-95127  
名称 福音讃美歌協会

### ◆ゆうちょ銀行口座◆

〇一八店 普通 7252410  
一般社団法人 福音讃美歌協会

## ■福音讃美歌協会 ◆賛助会員募集

- ・「賛助会員」は、福音讃美歌協会の趣旨に賛同し、支援してくださる教会や個人の会員です。
- ・賛助会員のお申し込みは、福音讃美歌協会までメールかFAXで入会申込書をご請求ください。
- ・賛助会員の年会費は、一口5,000円で、個人は一口から、教会は二口からでお願いします。
- ・正会員、準会員の詳細については、福音讃美歌協会まで直接お問い合わせください。

## 福音讃美歌協会 (JEACS)

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル 602号室  
Tel.03-5341-6920 Fax.03-5341-6921 (いのちのことば社出版事業部内)  
ホームページ <http://jeacs.org/> メール [info@jeacs.org](mailto:info@jeacs.org)



ホームページ



メール



Facebook



YouTube